

週間市場レポート (2021年2月1日~2月5日)

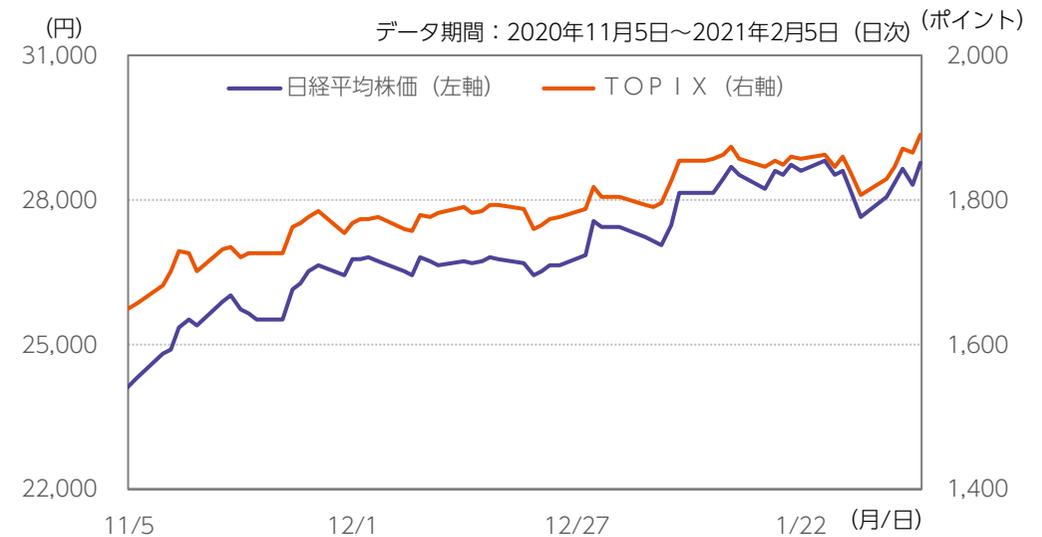
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/1/29	先週末 2021/2/5	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,663.39	28,779.19	4.03 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,808.78	1,890.95	4.54 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		29,982.62	31,148.24	3.89 ↗
S&P500種指数		3,714.24	3,886.83	4.65 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,481.44	3,655.77	5.01 ↗
S&P/ASX300指数		6,595.90	6,828.13	3.52 ↗
上海総合指数		3,483.07	3,496.33	0.38 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		1,056.53	1,110.24	5.08 ↗
東証REIT指数		1,846.41	1,851.64	0.28 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		712.67	736.35	3.32 ↗
ASX300 REIT 指数		1,381.40	1,408.70	1.98 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		172.25	176.74	2.61 ↗
日本10年国債 (%)		0.054	0.060	0.006 ↗
米国10年国債 (%)		1.066	1.164	0.098 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.518	▲ 0.448	0.070 ↗
英国10年国債 (%)		0.327	0.482	0.155 ↗
ドル/円		104.68	105.39	0.68 ↗
ユーロ/円		127.13	126.92	▲ 0.17 ↘
英ポンド/円		143.52	144.79	0.88 ↗
豪ドル/円		80.03	80.92	1.10 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,887.08	2,985.01	3.39 ↗
WTI原油先物 (ドル)		52.20	56.85	8.91 ↗
CRB指数		174.20	181.39	4.13 ↗
アレリアンMLP指数		859.76	895.11	4.11 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

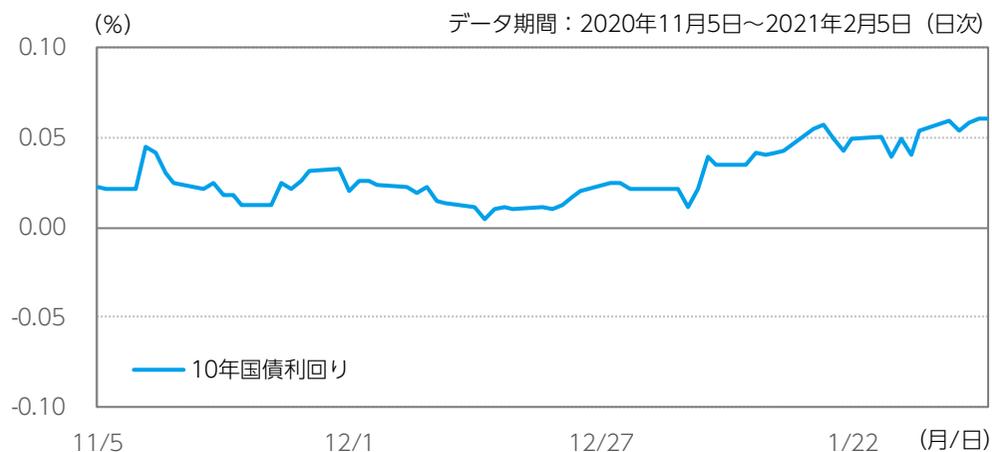
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米国株式市場で個人投資家の投機的な取引による市場の混乱が落ち着いたことや、バイデン米新政権が掲げる追加経済対策の早期成立への期待が高まったことなどから、日経平均株価は週初より3日連続で上昇しました。その後は、短期間での急上昇による高値警戒感から利益確定売りに押されたものの、週末は、好決算銘柄中心に買われ、上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

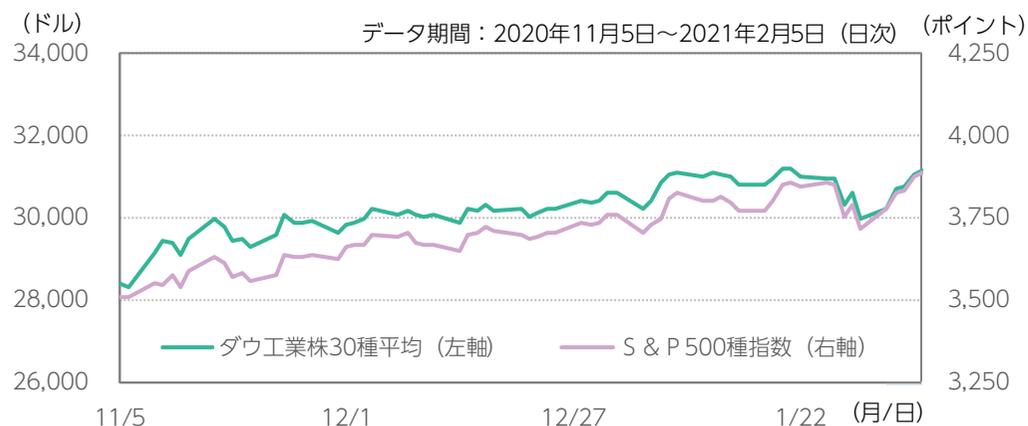
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。
 週初は、財務省が実施した10年国債入札の結果が好調と受け止められ、需給の引き締まりを意識した買いが優勢となりました（利回りは低下）。週末にかけては、米追加経済対策の成立で、米国債が増発されるとの観測から米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

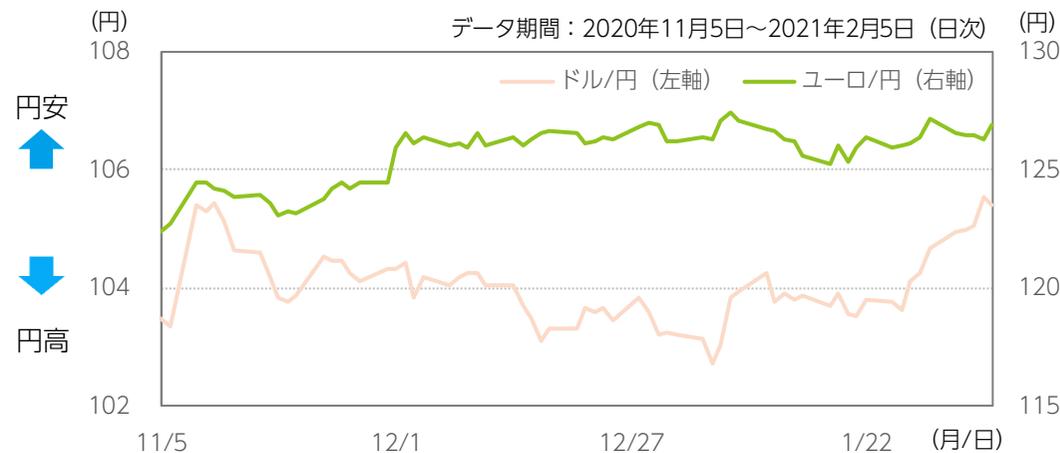
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。
 個人投資家の投機的動きによる市場への影響が和らいだことや、民主党単独で追加経済対策を早期に成立させることが可能となるとの期待などから、週初より上昇となりました。週末にかけても、好調な企業決算や米経済指標が好感され上昇し、5日連続の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
 米追加経済対策の成立で、米国債が増発されるとの観測から米長期金利が上昇し、週を通じて日米金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、個人投資家の投機的動きによる市場の混乱が和らぎ、米追加経済対策の成立期待が高まったことなどから、日米両市場ともに上昇となりました。

米民主党のシューマー上院院内総務とペロシ下院議長が提出した2021会計年度予算決議案が、上院・下院両院で可決されました。これにより大規模な追加経済対策を共和党との協議なしに民主党単独で成立させることが可能となります。米国景気の早期回復期待が高まるものとみられます。

今週は、日米の主要企業の決算結果に注目が集まります。今週の日米株式市場は、これまでの急上昇による高値警戒感から利益確定売りに押される場面もあるものの、決算発表で業績改善が確認できれば、一段と上昇する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>